

広島なぎさ中学校

〔所在地〕広島市佐伯区海老山南2-2-1
〔TEL〕(082)921-2137
〔校長名〕角島 誠
〔ホームページ〕<http://www.nagisa.ed.jp/high/>

平成27年度 生徒募集要項

●**募集人員** 約200名(男女、なぎさ公園小学校からの内部進学者を含む)

●**試験日・試験科目**

1月20日(火) 国・算・理・社

●**試験科目・配点**

国語 55分 100点

算数 45分 100点

理科 45分 100点

社会 45分 100点

合計 190分 400点

●**合否判定**

学力検査 極めて重視

●**合格発表** 1月21日(水)の午後7時頃に、本校ホームページで合格発表。また1月22日(木)夕刻までに、合否にかかわらず本人宛に速達郵便を投函。

学校情報

広島県屈指の男女共学の進学校としてのイメージが定着し、他校に先駆けて教育改革に取り組み、最もその改革に成功した学校の一つだ。

同校は佐伯区の五日市港東側に校舎を持つ。東西南北の4棟を空中廊下で結び、東側には広大な人工芝のグラウンドや教材池もある。創造意欲や学習意欲をかきたてる学びの空間は一般教室以外に各教科の先生の拠点となる教科ごとの部屋や一学年が収容できるシアター形式の教室は、小さなコンサートなどでもできる。常に新しいカタチの学びを展開するにふさわしい。

角島校長の就任以来、特に強調される、「なぎさスタンダード」と「学び・勉強・教え」については、大変詳しくつくられた同校のホームペ

ージもぜひご覧いただければと思うのだが、その中で掲げられた、4つの教育目標「21世紀型高学力の養成」「国際性の涵養」「創造性の練磨」「人間力の養成」は、受験対応型・注入方式といわれる知識の詰め込みを行って伸びるものではなく、子供たちの知識欲や創造意欲を刺激することによって伸びる。そして、そういった教育を展開するには、型にはまらない手づくりの教育を展開する必要がある。これを具体的に形にし、心を伝えながら実践するところに、この学校の群を抜いた教育の質の高さを見ることができる。

例えば、オリジナル科目として有名になったホームルームにあたる「人間」や技術家庭にあたる「創造国際」などは、教える側の教師自身がそういった科目を受講したことがない中、まさに手づくりの展開を教師陣が共有し、事前準備をし、もちろん授業後は次に向かっての改善が図られていく。教師はファシリテーターとしての役割をもち、決して一方的に教え込む教育が展開されるわけではない。こうして取り組まれた教師の教育づくりのプロセスを体験することやその理解が、教育力そのものを高めることは言うまでもない。そしてそのことは間違いなく生徒に還元されることとなる。

そして、授業作り、教材作り、プログラム作り、教授法について、こうした独自のあゆみは、子供の知識だけでなく、知恵と呼べる部分を内包した確かな学力へと導いていくに違いない。そのことが、この学校の教育は「本物の教育」であるという風格を醸し出していると言っても過言ではなからう。(学習共同体グループ：河浜)

平成26年度 入試結果

入試結果

〔一般入試〕

●**受験者数** 479名

●**合格者数** 378名

●**入学者数** 152名

上記数値には、なぎさ公園小学校からの内部進学者の数字は入っていません

系列高校

広島なぎさ高校 原則として進学できる。

テスト結果

●**受験者平均点**

国語 62.7点(100点満点)

算数 52.9点(//)

理科 49.9点(//)

社会 53.6点(//)

合計 218.8点(400点満点)

●**合格者最低点** 190点(400点満点)